AgileWorks R3

クロスブラウザ制限事項

R3.3 第 1 版(2026/07/15)

ATLED

目次／索引

1. はじめに 4
1.1. 本書の目的 4
1.2. 対象読者 4
1.3. 他社商標について 4
2. クロスブラウザ対応 5
2.1. 対応ブラウザ 5
2.2. 対応範囲 5
2.3. 対応方針 5
3. 制限事項 6
3.1. 概要 6
3.2. フォームでの制限事項 6
3.3. ユーザーサイト/管理サイトでの制限事項 8

◆ 改版履歴

版数	年月日	改版内容
第 1 版	2026 年 07 月 15 日	第 1 版作成

1. はじめに

1.1. 本書の目的

本書は AgileWorks のクロスブラウザ対応について説明します。

1.2. 対象読者

本書は、AgileWorks の基本的な管理機能に関する基本知識を持つ方を対象としています。

1.3. 他社商標について

Firefox は Mozilla Foundaiton の登録商標または商標です。
Google Chrome は Google Inc. の商標です。
その他、記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する会社の商標または登録商標です。
本書では、©、®、(TM) の表示を省略しています。ご了承ください。

2. クロスブラウザ対応

2.1. 対応ブラウザ

AgileWorks では、以下の各ブラウザに対応しています。

・Mozilla Firefox （Windows OS）
・Google Chrome（Windows OS、MacOS）
・Microsoft Edge（Windows OS、MacOS）
・mobile Safari（iOS）

ブラウザのバージョンなど、詳細なクライアント動作環境については「Aw00-動作環境とモジュール構成.pdf」を参照してください。

2.2. 対応範囲

以下の各機能において、クロスブラウザ対応を行っています。

・AgileWorks ユーザーサイト全般
・AgileWorks 管理サイト全般（※）
・X-WebForm For AgileWorks プレビュー機能（※）

2.3. 対応方針

1) ブラウザ側の仕様に起因して AgileWorks 側で発生した事象のうち、対応が不可能または困難なものにつきましては、当該ブラウザにおける制限事項としております。
本資料執筆時点で確認されている制限事項は、後述の「制限事項」に記載しておりますが、今後新たに確認される事象につきましても、同様に制限事項となる場合があります。

2) ブラウザ側の問題に起因して AgileWorks 側で発生した事象につきましては、基本的に AgileWorks 側での対応は行いません。
また、弊社の保守・サポートサービスにおいて提示する解決策は、ブラウザ提供元が提示する設定変更（チューニングなど）による回避方法に限定されます。

3) 各ブラウザの後継バージョンへの対応は、従来通りメジャーリリース又はマイナーリリースの中で対応を行います。
但し、必ずしも後継バージョンへの対応をお約束するものではありません。

4) お客様がフォームに対して固有に組み込まれた JavaScript の動作に関しましては、動作保証の対象外となります。
（AgileWorks JS API for X-WebForm の API 動作自体に関しては動作保証対象です。）
各ブラウザに合わせての JavaScript 記述および動作確認をお願いします。

3. 制限事項

3.1. 概要

異なるブラウザにおいては、表示や動作に差異が生じる可能性があります。
以下に発生し得る差異の概要を説明します。

1) 表示の差異
ブラウザ側の仕様やクライアント環境に導入されているフォント等により、フォームおよび文字の見た目が異なります。
X-WebForm For AgileWorks でフォームを作成する際には、利用者が多いメインとなるブラウザでプレビューを行いながらベースを作成して、その他のブラウザでもプレビューを行って調整を行います。

2) 動作の差異
ブラウザ側の仕様により一部動作しない機能があります。
詳しくは後述の制限事項を参照してください。

3) JavaScript の差異
JavaScript はブラウザによって動作が異なる場合があります。
固有で実装した JavaScript は利用する各ブラウザにおいて検証の上で利用してください。

3.2. フォームでの制限事項

1) IME モード
Chrome/Edge では、文字フィールドやテキストエリアの IME モード設定が動作しません。
また、IME モードオンの状態でチェックボックス、ラジオボタンにスペースキーでチェックを付けることができません。上記の操作を行う場合は、事前に IME モードをオフにしてください。

2) ふり仮名フィールド
Firefox では、ふり仮名フィールドを設定しても動作しません。

3) フィールド選択時の動作
Firefox/Chrome では、フィールドをマウスでシングルクリックしても、入力済み文字列が選択状態となりません。

▼Edge

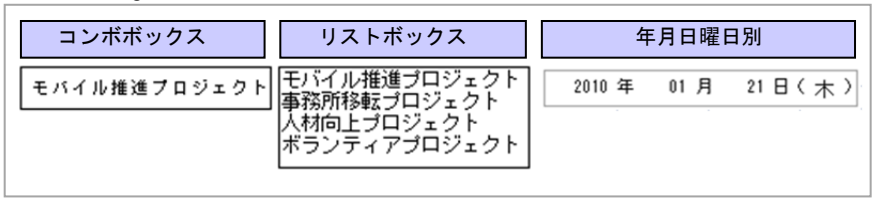


▼Firefox/Chrome

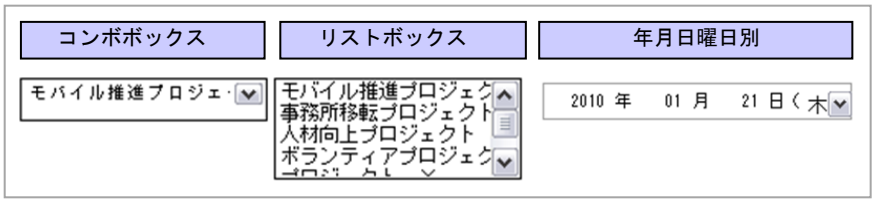


4) コンボボックス/リストボックス/曜日フィールドの表示
Firefox では、コンボボックスのドロップダウンリスト表示用ボタンおよびリストボックスのスクロールバーが常に表示されます。
曜日フィールドはコンボボックスを利用している為、同様の表示となります。

▼Chrome/Edge

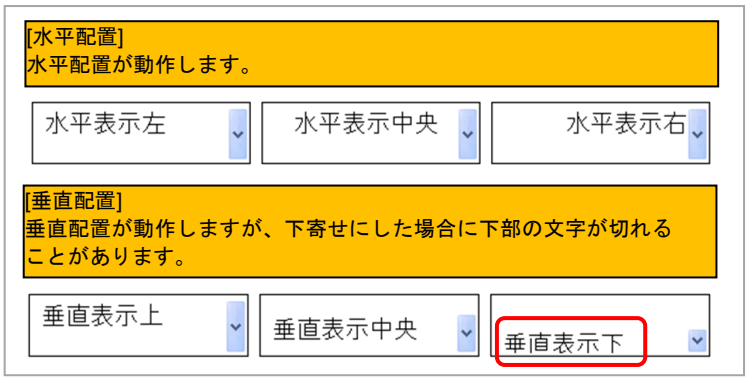


▼Firefox

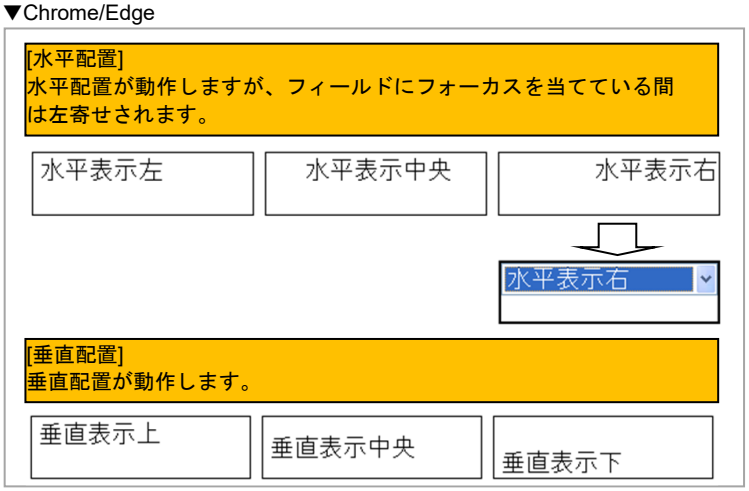


5) コンボボックスの水平・垂直配置
Firefox/Chrome/Edge では、コンボボックスの水平・垂直配置設定時の表示が異なります。

▼Firefox



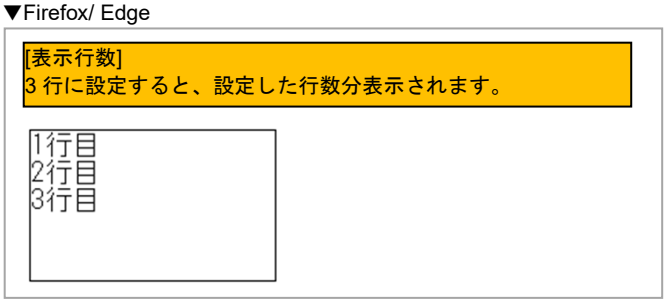
▼Chrome/Edge



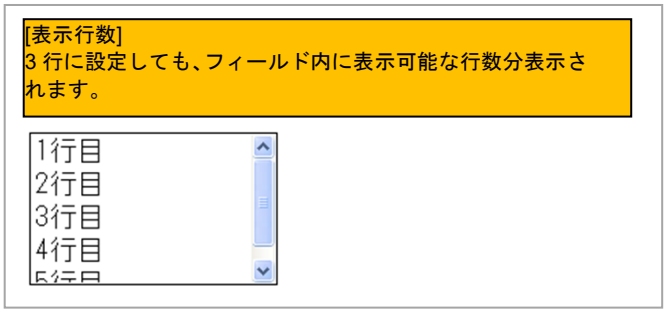
6) リストボックスの垂直配置
リストボックスでは垂直配置をサポートしていません。

7) リストボックスの表示行数
Chrome では、リストボックスの表示行数設定が動作しません。

▼Firefox/ Edge



▼Chrome



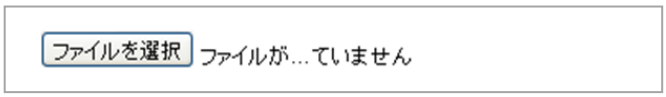
3.3. ユーザーサイト/管理サイトでの制限事項

1) ファイル参照時のボタン表示
Chrome では、添付ファイルをアップロードする際などに利用するファイル参照用ボタンのラベルが異なります。
また、表示される言語は OS 言語に依存します。

▼Firefox/Edge



▼Chrome



2) ドキュメントビューア URL の閉じるボタン
Firefox では、ドキュメントビューア URL を実行（通知メールからの表示含む）してドキュメントビューアを表示した際に、ビューア内の閉じる（×）ボタンが利用できない為、ブラウザの×ボタンで閉じます。

※2026/03/12 時点では Chrome/Edge でも同様の挙動となることを確認しています。

3) FlowEditor の起動
FlowEditor はサーバー側から実行用ファイルをダウンロードして、クライアント側で実行する形式で動作します。
ブラウザの設定によっては、自動的にダウンロードファイルを任意のディレクトリに配置する場合がありますが、この設定の場合には FlowEditor が起動しません。
ダウンロードディレクトリに配置された.jnlp 拡張子のファイルを実行して FlowEditor を起動してください。